

## 2026年度人文学部FD活動方針・活動計画

FD活動に関して、学部全体としては、各学科の時間割担当教員、学部教務委員、学部FD委員からなる人文学部カリキュラム委員会において検討などを進めていく。2026年度は、就職活動の早期化が及ぼす大学生活への影響に関する現状と課題に焦点を当てたい。就職活動の早期化や長期化、高度化するインターンシップが南山大学生の学修を中心とした大学生活にどのような影響を及ぼしているのか、その現状を知ること、それを踏まえた学生対応にどのような課題があるかを考えることは教員にとって必要な事項になっていると考えられる。南山大学においてキャリア支援に関わっている教職員から情報提供を受け、教員相互で意見交換を行いたい。(他に、年度内での早期の対応が必要な課題が現れた際には、そちらを優先して扱う可能性がある。)

各学科については、以下の通り。

キリスト教学科では4月に新入生オリエンテーション合宿を開催する予定。学科教員の紹介、学科の特徴や魅力、学習内容、学生生活へのアドバイスなどを教員と学生スタッフが新入生に語り、交流することで新入生が充実した大学生活を始められるようにすると共に、学生指導にも役立てる。5月には新入生歓迎コンパを開催する予定であり、新入生と在学学生そして教員との交流と親睦の機会とする。また2027年2月に「研究プロジェクト発表会」、「卒業生歓送会」、「次年度ゼミ説明会」を開催し、教員と学科学生との間の質疑応答、交流、親睦の機会を設けて学生指導に役立てる予定。また年度末には学科FD懇談会を開く予定である。

人類文化学科では以下のような活動を予定している。

- ①「1年生からゼミ選択をサポートする体制作り」として、引き続き、「1年生向けゼミ紹介」と「2年生向けゼミ紹介」を学科会議で相談して行う。
- ②「学科アンケート」の総数は微増であったので、さらに増やす(そして学生がいっそう回答しやすくなり回答したくなるような)方策を議論する。
- ③今後の学科科目の在り方を考えていくために、「学科科目の再確認」というシリーズものの学科FDの会をもち、科目担当者の話を聴いて再確認する機会をもつ。

活動計画としては、上記の内容について学科会議後に数回学科FDを行う予定である。

心理人間学科では、引き続き、①多様な機会をとらえて学生、授業の情報を共有すること、②新設された「学科IR委員」によるデータ収集分析に基づき、学科教育の向上に学科全体で取り組んでいくこと、③学科ディプロマ・ポリシーに関する学生の到達度の把握と評価の方法を検討していくこと、を2026年度の活動方針とする。毎回の学科会議、および年度末の「心理人間教育研究会」が主たるFD活動の場となる。

日本文化学科では、以下の取り組みを実施していく。

新入生オリエンテーションを4月半ばに実施する。

6月及び10月に、2年生対象のゼミの説明会を実施する。

2024年度のFDで検討した方針に沿って、卒業論文の題目を秋に学科に提出することを義務付け、卒論作成の早めの進行を促す。

2025年度のFDイベントの議論を踏まえ、学生指導を濃密にしていく。

AIの普及など、学生を取り巻く環境は日々変化しているので、年度末に限らず、問題点が浮上した段階で、学科会議後の時間などを用いて活動状況の確認などを行い、情報共有と次年度以降に向けての課題について検討する予定である。

以上